



SCB

ニュース&トピックス

No.2025-78

(2025.9.24)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

信用金庫統計担当：西 俊樹

03-5202-7672

s1000790@FacetoFace.ne.jp

信用金庫の資金運用利回

ー2024年度の資金運用利回は前期比0.07ポイント上昇の1.06%ー

ポイント

- 2024年度の全国信用金庫の資金運用利回（資金運用収益／資金運用勘定（平残））は、前期比0.07ポイント上昇の1.06%となった。
- 業態別では、信用金庫の資金運用利回は都市銀行、地方銀行、第二地方銀行を上回って推移している。
- 信用金庫別に、資金運用利回を2期間で比較（2020年度と2024年度）したところ、上昇金庫が多くなっている。

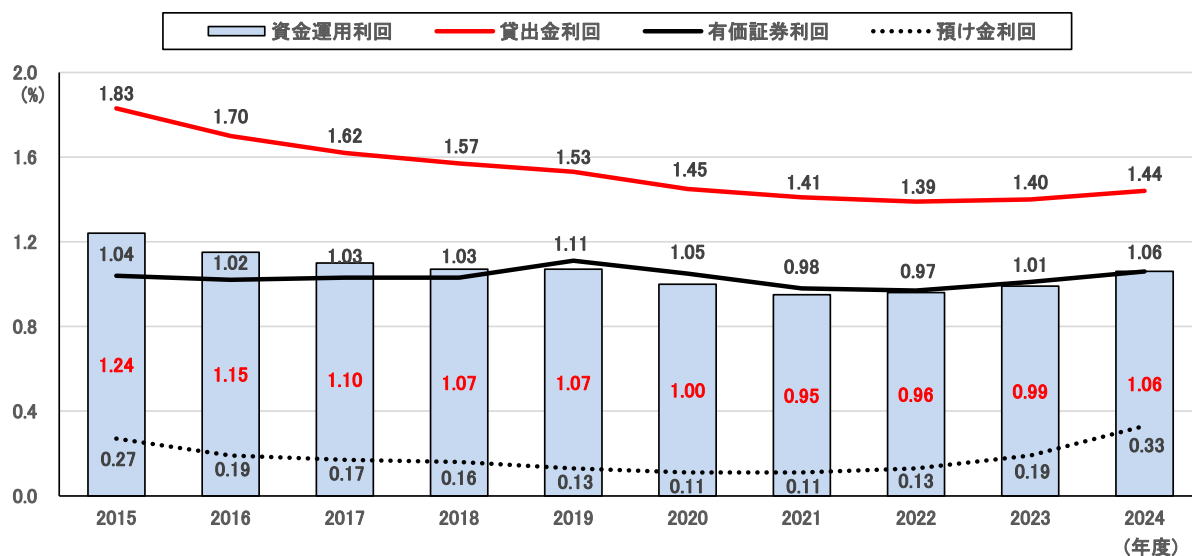
1. 資金運用利回の状況

2024年度の全国信用金庫の資金運用利回（資金運用収益／資金運用勘定（平残））は、前期比0.07ポイント上昇の1.06%となった。本稿では、資金運用利回を構成する貸出金利回、有価証券利回、預け金利回も踏まえて確認する。

過去10年間における推移をみると、貸出金利回の低下を主因に資金運用利回は低下傾向にあったが、2022年度以降、各利回ともに上昇に転じている。

また、直近において資金運用利回が上昇している背景として、2023年度以降、日銀による政策金利の引上げの影響等もあり、各利回ともに上昇していることが挙げられる（図表1）。

（図表1）資金運用利回の状況



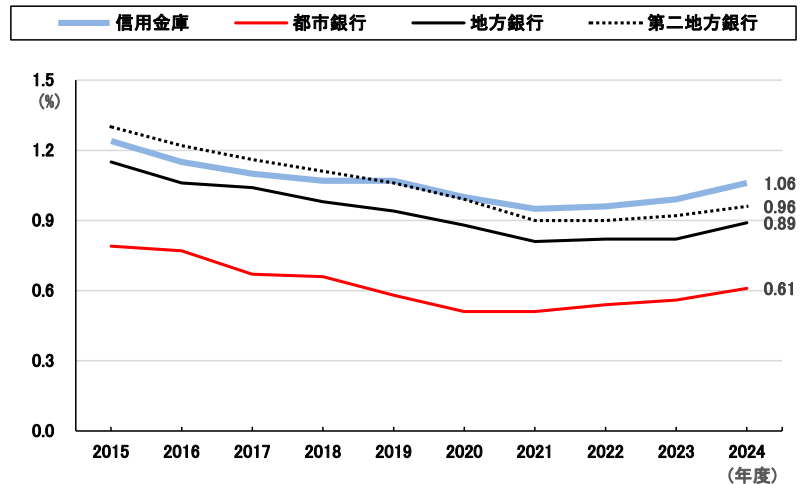
（備考）信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 他業態との比較

次に他業態と比較するため、過去 10 年間における資金運用利回の推移を示す（図表 2）。

他業態とも上昇傾向にあるが、2024 年度は大きく上昇している。また、信用金庫の資金運用利回は、都市銀行、地方銀行、第二地方銀行を上回って推移している。

（図表 2）他業態との比較



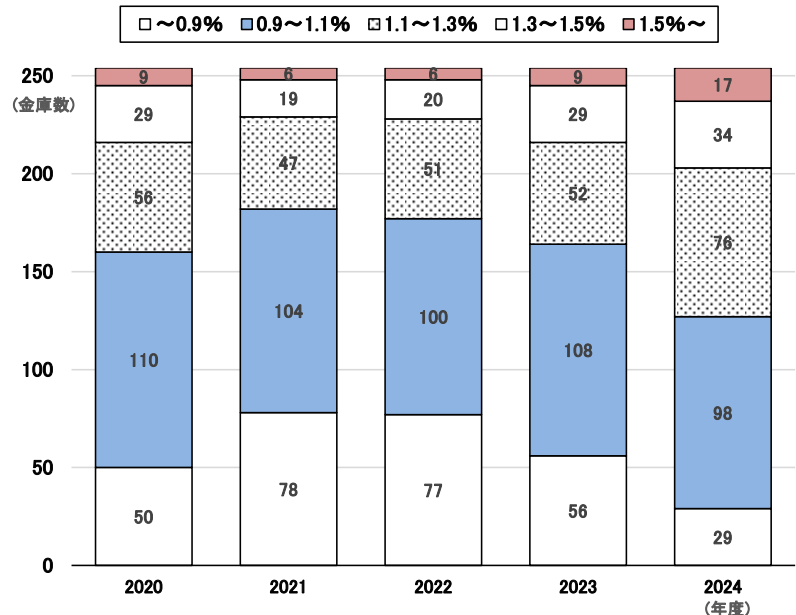
（備考） 1. 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成
2. 他業態は全国銀行協会「全国銀行財務諸表分析」より作成

3. 信用金庫別の状況

次に信用金庫別に最近 5 年間の資金運用利回の推移を示す（図表 3）。

0.9%以上～1.1%未満の信用金庫が最多で推移してきたが、1.5%以上の信用金庫数が増加するなど、全体的に上昇傾向にある。また、資金運用利回を 2 期間（2022 年度と 2024 年度）で比較したところ、上昇 248 金庫、低下 6 金庫となっており、上昇金庫が多い状況となっている。

（図表 3）信用金庫別の状況



（備考） 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

全国信用金庫の資金運用利回は上昇傾向にあるが、資金運用資産の 5 割近くを貸出金が占めている。今後、政策金利の引上げに伴い貸出約定金利の見直しが行われることで、更なる資金運用利回の上昇につながる可能性も期待できるが、良質な貸出資産の積上げを図れるかどうかは信用金庫における収益性向上の鍵となろう。

以 上

※信用金庫業界の各種データは、信金中央金庫 地域・中小企業研究所ホームページの「信用金庫統計」(<https://www.scbri.jp/publication/toukei/>) に掲載されています。併せて、ご活用ください。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。